

アンソニー・サレシト

本社文教部門 (Worldwide Education)
バイスプレジデント (Vice President)

マイクロソフトコーポレーションにおけるワールドワイドの教育部門担当バイスプレジデント。学習環境と生徒の成績との最適化に向けてテクノロジーを活用するために、教育機関およびパートナーと世界規模での活動を行う。マイクロソフトの教育に関するビジョンの国際的な展開や Worldwide Partners in Learning (WPiL)、Partners for Technology Access (PTA)、Public and Private Alliances (PPA) プログラムを通じたパートナーシップおよび技術面における支援活動を指揮。



以前は米国で公共教育部門ジェネラルマネージャーを担当し、全米において幼稚園から高校、さらに上の高等教育機関への支援を担当。学習を促進させるためにテクノロジーが果たす役割を支援、増加させるマイクロソフトの取組みを先導した。教育分野における世界中の顧客をさらサポートするために、教育におけるパートナーシップや革新的なプログラムを開発。

2003 年には U.S. Partners in Learning の立ち上げを支援し、同プログラムは、2009 年に全米知事会から官民パートナーシップアワード (Public-Private Partnership Award) を受賞。サレシト氏はマイクロソフトが「スクール・オブ・ザ・フューチャー (the School of the Future:SOF)」設立へ参加する触媒となった。マイクロソフトは、フィラデルフィア学区と協力しフィラデルフィア市における画期的な高校の設立に参加し、これがマイクロソフトの世界規模における「イノベティブ・スクール (Innovative Schools)」プログラムの青写真となった。

マイクロソフトの献身的な取組みや「互いに結びついた教育環境のある地域社会 (Microsoft's Connected Learning Community)」におけるイニシアチブを支援するために幅広く活用されているプログラムを複数開発したほか、IT 専門家、開発者を学校や非営利団体と繋げ、技術支援のために専門知識を提供する「マイクロソフト・テクノロジー・フレンド・ネットワーク (Microsoft Technology Friends Network)」も立ち上げている。

1992 年にマイクロソフト入社。1990 年代初頭に、マイクロソフトでマーケティング支援計画の立案を支援。その後、Windows NT および Windows 95 向け製品のローンチを含めたマーケティングおよび 1 対多数のプログラムに影響を与える機会を得た。

また、多数の支援プロジェクトに参画しており、スティーブズ・インスティテュート・オブ・テクノロジー・ウェブキャンパスおよびウェスタン・ガバナーズ大学の理事会員のほか、現在、全米起業教育財団、全米コミュニティ・エデュケーション協会の会員も務める。

Stay connected

www.microsofteducationblog.com